

## 2 認知症 地域の取り組み

誰もが安心して暮らせるまちづくりは、行政や専門の支援機関だけで実現できるものではありません。地域で活動するNPO法人やボランティアに、その取り組みを伺いました。

### ① 生きがいサロン

生きがいサロンとは、おおむね65歳以上の方が気軽に集まることができる場所で、介護予防や健康づくり、趣味の活動などを行う地域交流の場です。

#### ● みんなの居場所・ゆつくりサロン(那須高原)



NPO法人ゆつくりサロン理事長の荒木純子さん(写真左)とボランティアの皆さん

平成15年、地域の人の助け合いで安心して暮らせるコミュニティをつくりたいと取り組んでいた仲間たちと、高齢者の日中の居場所「ゆつくりサロン・黒田原」を開設しました。翌年にはNPO法人化し、何度か移転後、現在は誰もが集える場所として、自宅を開放して「みんなの居場所・ゆつくりサロン」を開いています。



この日は、参加者がマージャンを楽しんでいました

ここは、認知症や障害の有無などにかかわらず誰もが集える共生型の居場所です。参加者は、お互いに見守りながら「できることは自分たちで」と自然に役割をもつて過ごしています。

参加者の声から、編み物、パッチワークなど、曜日ごとに趣味の講座を開いています。また、NPO法人事業として福祉有償移送サービス(介護が必要な方や障害のある方の送迎)もしています。予約制で1食600円のランチも提供しています。

資金面の厳しさやスタッフの高齢化などの問題に加え、コロナ禍もあり、継続を悩む時期もありましたが、参加者からの要望と大きな協力があり続けていくことができました。

本日は地域ごとに、歩いて行け

るくらいの場所にこうした居場所がたくさんでき、いつまでも安心して暮らせる地域コミュニティができたなら良いと考えています。

#### ▼問合せ

みんなの居場所・ゆつくりサロン  
オレンジカフェゆつくりサロン  
☎ 5185 または  
☎ 080・1168・2929

(荒木)

### ② オレンジカフェ

オレンジカフェとは、認知症の当事者や家族、地域の人などが集まることができる場所で、参加者同士で会話をして交流できる場です。

#### ● オレンジカフェ「こもれびの時」



オレンジカフェ「こもれびの時」のスタッフの皆さん

スタッフには看護師、認知症地域支援推進員、元保健師がいます。全員傾聴ボランティアです。

傾聴ボランティアの活動を通して、認知症の人やご家族が、認知症という言葉から制約を感じていることに気付きました。そのような方や将来の自分たちのために「あそこへ行けばくつろいで自分らしく過ごせる」と思える場所がほしいと思いました。



りぼーる・たなかで、毎月第1・第3火曜日午前10時~正午に開設しています

「こもれびの時」は、認知症の人やそのご家族だけでなく、なんとなく不安な人、物忘れが気になる人、地域の人などが、おしゃべりをしながら楽しく交流できる場所。参加費は100円です。

参加する人同士、自由に話を交わす中から「こんなことがしてみたい」という声を聞いて実現をしていきたいと思います。

#### ▼問合せ こもれびの時事務局

☎ 080・1321・0811

(竹原典子)